所属学部・学科	人間社会学部	心理学科
氏名（漢字）	伊藤	淳子
氏名（ローマ字）	Junko	Ito
職位	准教授	
学位	修士	

1． 学術論文(Original Papers)

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	題名(title)	掲載誌(journal)	巻・号(vol, no.)	ページ(pages)	発行年月(date)
1	共著	Michiko Akimoto, Takuma Tanaka, Junko Ito, Yasutaka Kubota and Akitoshi Seiyama	Inter-Brain Synchronization During Sandplay Therapy: Individual Analyses	Frontiers in Psychology	online		2021年11月
2	共著	秋本倫子，古川佳子,伊藤淳子	Exploring the Sandplayer's Brain: A Single Case Study」	箱庭療法学研究	Vol.30 No.3	73-94	2018年3月
3	単著	伊藤淳子	臨床心理士養成校の実習施設において研修生の倫理的態度を育てるための一考察	多摩心理臨床学研究	第4号	11-16	2009年3月

2． 国際会議論文(Proceedings)

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	題名(title)	会議録名(proceedings)	ページ(pages)	開催地(venue)	開催年月
					-		

3. 著書・監修

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	書名(title)	出版社(publisher)	執筆箇所	ページ(pages)	出版年月

4. 総説・解説

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	書名(title)	出版社(publisher)	執筆箇所	ページ(pages)	出版年月
						-	

5. 翻訳

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	原著者名	訳本名	原著題名	出版社(publisher)	執筆箇所	ページ(pages)	出版年月
								-	

6. 特許(Patents)

番号(no.)	発明者名(inventor)	発明名称(invention)	出願／公開／登録番号	出願年	公開年	登録年

7. 学術講演・研究発表(Lectures)

番号(no.)	単独/共同・分担	著者(authors)	題名(title)	講演集名(preprints)	ページ(pages)	開催地(venue)	発表年月	学会等の名称
1	共同	秋本　倫子,石原　宏,伊藤　淳子,田中　琢真,久保田　泰考, 小林　能成	箱庭療法における見守りと共創―脳活動計測による事例検討 2―			online	2021年12月	第5回共創学会

2	共同	成田 慶一 ・秋本 倫子・石原 宏・伊藤 淳子・田中 琢真・小林 能成 ・久保田泰考 ・星 詳子・精山 明敏	混合型一事例研究の実践報告			online	2021年11月	2021 MMIRA アジア地域会議 / 第 7 回日本混合研究法学会年次大会
3	共同	秋本倫子・石原宏・伊藤淳子	携帯型脳活動計測装置を用いた箱庭セッション中の脳活動計測の試み			online	2021年10月	日本箱庭療法学会第34回大会
4	共同	秋本倫子・石原宏・伊藤淳子	箱庭療法におけるCl-Th関係―携帯型NIRS(近赤外分光法)を用いた脳活動計測による探究の試み―			online	2021年9月	日本心理学会第85回大会
5	共同	秋本倫子・石原宏・伊藤淳子	箱庭療法における脳活動計測			online	2021年2月	滋賀大学 健康セミナー Web ワークショップ
6	共同	秋本 倫子・石原宏・伊藤淳子	箱庭療法における「むきあう」その 1 - 脳活動計測における検討の試み			online	2020年12月	第4回共創学会
7	共同	秋本 倫子・石原宏・伊藤淳子	箱庭療法における「むきあう」その 2 -実験状況における箱庭療法場面の質的分析			online	2020年12月	第4回共創学会
8	単独	伊藤淳子	蕎麦と日本人のこころ			京都	2019年6月	ユング心理学会第8回大会

9	単独	伊藤淳子	蕎麦の持つ対称性について			滋賀	2019年5月	2019年度 第一回「神経-箱庭研究会」
10	単独	伊藤淳子	「学生相談・談話室での心理的援助についての一考察」				2018年8月	心理臨床学会第37回大会,
11	共同	秋本 倫子・石原宏・伊藤淳子	「脳から見た箱庭療法」（2）			大阪	2017年10月	日本箱庭療法学会第31回大会
12	共同	伊藤淳子・木村淳子他	「心理スタッフが常駐する談話室における活動実践について」			横浜	2017年8月	心理臨床学会第36回大会,
13	共同	M Akimoto,J Ito	「Exploring Neural Underpinnings of Sandplay Therapy by NIRS」(Near-Infrared Spectroscopy)			Hawai	2017年7月	国際箱庭療法学会(ISST)第24回大会
14	共同	秋本倫子・古川佳子・伊藤淳子	「脳から見た箱庭療法」-セラピストのスタイルとクライエント-セラピストの相互作用-			東京	2016年10月	日本箱庭療法学会第30回大会
15	単独	伊藤淳子	教室にいられない女児との小学校でのプレイセラピー過程			広島	2004年9月	日本箱庭療法学会第１８回大会　口頭発表

8.　報告(Reports)

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	題名(title)	報告書名(report)	巻・号(vol, no.)	ページ(pages)	発行年月(date)
						-	

9.　紀要(Bulletin)

番号(no.)	著者(authors)	題名(title)	紀要名(bulletin)	巻・号(vol, no.)	ページ(pages)	発行年月(date)
1	木村淳子・伊藤淳子他	これからの学生支援について	明星大学心理学研究紀要	第36巻	33-37	2018年3月

2	伊藤淳子	クリスマスを体験し、落ち着いていった女児とのプレイセラピー	東洋英和女学院大学心理相談室紀要	第12巻	50-61	2009年3月
3	伊藤淳子	リストカットを主訴とした女性との面接過程	東洋英和女学院大学心理相談室紀要	第11巻	69-78	2008年3月
4	伊藤淳子	クライエントと治療者の相互変容過程	東洋英和女学院大学心理相談室紀要	第9巻	10-13	2006年3月
5	伊藤淳子	情緒不安定を主訴とするAくんとのプレイセラピーを振り返って	東洋英和女学院大学心理相談室紀要	第8巻	49-60	2005年3月
6	伊藤淳子	母親面接で表現されない母親の心の傷つきについて	東洋英和女学院大学心理相談室紀要	第3巻	32-44	2000年3月

10. 書評

番号(no.)	原著著者名	原著題名	出版年月	巻・号(vol, no.)	ページ(pages)	発行所	種別
					-		

11. 作品

番号(no.)	単著/共著	著者(authors)	題名(title)	発表年月	学会名称	場所

12. 研究表彰

番号(no.)	単独/連名	受賞者	賞名	業績名	主催団体名	受賞年月

13. 外部資金

番号(no.)	名称	種別	題目	開始年度	終了年度	研究代表者

14. 資格

番号(no.)	名称	取得年月	更新年月	登録番号
	臨床心理士	2002年4月	2022年4月	9957
	公認心理師	2019年2月	-	21381